



# たいさんぼく

平成30年度 学校だより夏休み号  
小平市立小平第十三小学校  
<http://www.kodaira.ed.jp/13kodaira/>

## 夏休みに我が子を成長させる10の目標

副校長 柴田 英文

このたびの西日本豪雨により被災された皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。被災された皆さまの一日も早い復旧と、皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

さて、いよいよ明日から42日間の夏休みです。子どもたちにとっては、楽しみにしていることと思います。この42日間は、普段はできないことを、じっくりと取り組むことができるチャンスです。

夏休み中は家族との予定や学校からの宿題があったとしても、学期中と比べたら自由に過ごせる時間は多いはずです。子どもたちが、この自由をぜひ満喫しながら、体とともに心も大きくなることを願っています。

そこで、保護者の皆様には、お子さんといっしょに考えていただきながら、次の10の目標を我が子にさせてみることをお勧めします。

### 夏休みに我が子を成長させる10の目標

1. 自ら考えて行動させ、社会の一員としての判断力を養う生活や活動に参加させてください。
2. 自然や生命の大切さを考える体験をさせてください。
3. 郷土の伝統や文化と外国の文化にふれる体験をさせてください。
4. 家族や家庭の中の役割を与え、生活をさせてください。
5. 読書に親しませてください。
6. 生活の中で使う数や量について、理解や技能をつけさせてください。
7. 生活や自然の中から、観察や実験をとおして科学的に考え理解する態度を養わせてください。
8. 健康的な習慣と運動をさせてください。
9. 音楽や美術などの芸術に親しませてください。
10. 職業について考えさせる機会をもたせてください。



サッカーワールドカップは7月16日に終わってしまいましたが、見ていてとても面白いと思いました。その面白さは何かという、刻一刻と変化する状況に対応し、チームメイトとコミュニケーションを取りながら、自らの判断力で作戦を選び、自分たちの得意とするものを生かして目標（ゴール）を決める国が勝つということです。

これからの教育も、サッカーのゲームと同じではないでしょうか。今までの知識と技術をもって、社会や経済が成り立ってきたからと言って、同じで居続けることができないと未来予想がなされています。記憶を中心とした教育から、変化に対応できる人を育てる教育に今後は重点がもたれるようになります。

先に掲げた10の目標は、どのような変化にも対応できる人を育てるための基本です。小学生の間にこの10の目標に向かう力を獲得できることが、未来の勝敗を決するポイントになります。どうか、未来のゴールを決める力の一端をこの夏休みをとおして獲得させてください。

今学期も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。どうぞ交通事故などには十分ご注意ください、有意義な夏休みをお過ごしください。

○8月の芝刈りの予定 ※午後3時30分より

6日(月)、8日(水)、10日(金) 13日(月)、15日(水)、20日(月)、22日(水)、  
29日(水)、31日(金)